

# サイエンススクール for ガールズ 2026

開催日時：2026年 8月 20日（木） 13：00～17：00

対象・定員：高校生（女子優先）60名

日本大学生物資源科学部ではダイバーシティ推進事業の一環として、女子中高生の理系進路選択支援を行っています。女性研究者・技術者の育成には理系進路を選択する女子高校生を増やすことが重要と考え、理科が楽しいと思う機会を提供する目的で2011年よりサイエンススクールforガールズ（SSFG）を開催しています。生物資源科学は、植物、動物、微生物、食品、環境などを対象とした学問で、SSFGも多彩で魅力的な内容となっております。多くの高校生の皆様のご参加をお待ちしております。

## おすすめポイント！

- ・キャンパスに来て実験・実習を体験できます
- ・選べる実験・実習（6つのMenuがあります）
- ・実験が初めてでも大丈夫！（大学院生や大学生がサポートします）
- ・実験・実習だけじゃない（大学生や大学院生から色々な話が聞けます）
- ・卒業後のおもな進路も紹介します（キャリアデザイン講義）
- ・保護者・高校の先生の見学参加も可能です

参加  
申し  
込み

先着順  
Menu決定

（参加Menu決定は  
1週間以内に連絡）

## セミナー当日

- 12:30 受付開始（本館3階・中講堂前）  
13:00 セミナー開始（本館3階・中講堂）  
学部挨拶・キャリアデザイン講義  
・担当者紹介・事務連絡  
各Menuの実験・実習（場所移動）  
16:30～17:00 解散

## ● 申し込み方法・参加方法

QRコードもしくは <https://forms.gle/kWbMFnn78Kraje576> よりWebでお申し込みください。  
申込後、入力したメールアドレスに自動で回答のコピーが届きます（申込完了）。各Menuの定員は10名です。見学の保護者・教員は含みません。参加Menuは、先着順に決定します。希望するMenuを第1から第3希望までお知らせください。1週間以内にご参加頂くMenuをメールでお知らせいたします。保護者の見学参加は、参加の生徒さんと一緒にお申し込み下さい。  
実験・実習に必要なものはこちらで用意しますが、筆記用具はお持ちください。セミナー開催日が近くなりましたら、事務局より当日のご案内をメールでお知らせいたします。キャンセルされる場合には、必ず事務局までご連絡をお願いいたします。

## ● 申し込み受付期間 2026年 6月19日（金）～8月3日（月）

- ※「よくある質問」を学部HPに掲載します。
- ※ 申込後、自動で申込完了メールが送信されます。  
メールが届かない場合には、事務局までご連絡ください。

## ● 問い合わせ先

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866 日本大学生物資源科学部 SSFG 事務局  
E-mail : [brs.ssfg@nihon-u.ac.jp](mailto:brs.ssfg@nihon-u.ac.jp) 庶務課 成瀬・田辺（TEL 0466-84-3800）  
ダイバーシティ推進委員会 委員長 新町 文絵（TEL/FAX 0466-84-3743）



【お願い】スマートフォンなどからメールでお問い合わせをされた場合に、返信が受け取れないことがあります。メールが受け取れるように設定の変更などをお願いいたします。



Menu	内容	担当教員
1	<b>見て・さわって・はかって！キャンパスの森の探索&amp;調査</b> キャンパス内の樹木を対象に、森林や樹木の調べ方を解説します。まず、樹木の葉の形・色・手触り・匂い等を五感を使って観察します。また、自分たちで樹木のサイズを計測し、その結果から1本の樹木が蓄積している炭素の量を推定します。樹木の役割をより深く理解し、身近な自然がどのように地球環境を支えているのかを学びましょう。	園原 和夏
2	<b>世界に一つだけの花を作ろう — 花の品種改良体験 —</b> 花の品種改良では、色や形、香りを自由にデザインし、日持ちも良くします。品種改良の方法には、異なる花をかけ合わせる交配育種や、DNAを変える遺伝子組換え技術があります。このメニューでは、花の交配育種体験と遺伝子組換えに使う植物の培養を体験します。小さな瓶に入った培養植物はそのままご自宅にお持ち帰りいただけます。	東 未来
3	<b>果物の香りを科学する！実験で楽しむアロマキャンドル</b> グレープフルーツのさわやかな香りを取り出して、自分だけのアロマキャンドルを作ります！果物の香りには、いろいろな成分が含まれています。中でも特に大切な成分を実験で見つけて取り出し、キャンドルにします。香りの秘密を調べながら、身近な果物と科学がつながっている面白さや、ものづくりの楽しさを一緒に体験しましょう！	山口 勇将
4	<b>野菜を光らせる！顕微鏡で探る細胞のふしぎ</b> いつも食べている野菜が、実は光るんです。植物の細胞には、クロロフィルや細胞壁成分など、光を当てると自ら光る「自家蛍光」をもつ成分が含まれています。本Menuでは、特殊な染色剤を使わずに、顕微鏡で細胞内の構造を拡大しながら、自家蛍光の力でそれらを観察します。ふだん食卓にのぼる身近な野菜を、科学の目でのぞいてみましょう。	秋田 佳恵
5	<b>獣毛のスンプ標本作製 — 鱗片像の観察 —</b> 本学部の「骨の博物館」で、動物の剥製や骨格標本を見学した後、実験室で毛のスンプ標本を作製し、顕微鏡を使って観察します。さらに、複数の動物種のスンプ標本を使って、毛の表面に見られる「鱗片像」を比較してみましょう。最後に、鱗片の形の違いを手がかりに、どの動物の毛かを見分けることにも挑戦してみませんか？	金澤 朋子
6	<b>発酵食品の中にいる小さな生き物を見る</b> 私たちが日常的に口にしている発酵食品には、目には見えない小さな働き者—微生物がたくさん存在しています。彼らは食材を美味しく、そして安全な食品へと変える重要な役割を果たしています。彼らがどのように活動し、食品を発酵させているのか、顕微鏡を使って実際に微生物の姿を観察し、その不思議で奥深い世界をのぞいてみましょう。	京井 大輔

